

わたしホーム

住職の妻として地域と関わる中で思いついた、

「生前整理」という事業



三田市酒井にある曹洞宗の友松寺（ゆうしょうじ）。住職の妻である陶尾裕子（すえおひろこ）さんが始めた事業が話題を呼んでいる。その事業とは「生前整理」。残された家族が困らないように元気なうちに身辺整理をする。シニア世代の終活をサポートするこのような活動は、全国的にも重要性が注目されている。

愛知県からの移住者でもある陶尾さんが、移住先の三田市に根を下ろし、事業を起こすまでの経緯や苦労、この事業を選んだ動機と現在の活動について伺った。

住職の一家として移り住んだ三田市。のびのびと子育てができた10年

「ご縁があり僧侶の夫と名古屋から、今の友松寺にやってきました。移住までに何度か足を運びましたが、人間関係や環境に慣れることができるか不安もありました。」



2010年、一人目のお子さんが生後7ヶ月の時だった。都会から田舎への移住だったが、近所の人たちが、友松寺の新しい住職を待ち望んでいたこともあり、陶尾さんはとても親切にされると振り返る。

その後、もう二人のお子さんが誕生し、自然に恵まれた地域で子育てものびのびできた。一つだけ苦労したのは、病院が遠いこと。三田市には子どもの救急病院が無いので、伊丹市まで車を走らせることになるのだという。



住職の妻だから気がついた「生前整理」の必要性

移住から10年が経った2020年2月。陶尾さんは、事業を立ち上げる。遺品整理、生前整理や片付け代行、家事代行、空き家管理などを事業内容とする会社「わたしホーム」だ。

「お寺が遺品の相談を受けることがあります。故人の写真や人形など、捨てにくいものを供養して処分してあげるなど、お寺として助けられることがあるのです」

住職の妻として人の生死を見つめる経験をするうち「生きているうちにできることを伝え方が、本人の前向きな生活につながるはず」と気がついた。一般社団法人「生前整理普及協会」の講座を受講し、生前整理アドバイザー認定指導員の資格を取り、事業を開始した。

自分自身の古民家リノベーション経験から、空き家問題にも取り組むようになった。陶尾家は築50年の古民家をセルフ・リノベーションして現在も快適に住んでいる。しかし、持ち主が亡くなったり、入院されたりして、片付けなどが手に負えず放置されている空き家も多いと聞く。この経験を生かして困っている人を助けられるのではないかと考え、家財道具の片付け代行や空き家相談なども行うようになった。



ママ友が頼り。地域で仕事を回していきたい

生前整理や、家事代行、片付け代行、空き家管理…どれも地域の課題を解決する重要な仕事だ。3人のお子さんを抱え、寺での役割も果たしながら、どうやって仕事をこなしているのだろう。

「信頼のおけるママ友が頼りです。子育て中のお母さんは、会社員のように決められた時間で働くのは難しいのですが、空き時間を利用して働きたい人はたくさんいます。この人な

ら目的意識を共有してしっかりやってくれると思えるママ友に声をかけて、手伝ってもらっています。仕事も地域の中で回したいという気持ちもあります」



事業は少しずつ成長していると感じる。市役所や介護の現場、口コミや紹介などで問い合わせが入るようになって、人の繋がり大切さを実感しているという。

最近では、三田市や老人会や高齢者サロンのようなところから、講演依頼が入る。内容は「部屋の片付け方」から「空き家管理」「エンディングノート」「資格取得」など様々だ。

今後の展望をお聞きしたところ「まだまだ子育てもあり急激に事業拡大はできないが、いずれ、手伝ってくれている人も含め、安定収入を得られる事業にしたいと思っている」という答えが返ってきた。

奥さんがその土地を気にいるかどうか移住成功の鍵！



移住に関しては「三田市は都会の要素と田舎の要素の両方を兼ね備えています。都会からの移住であれば、まずはニュータウンの方に試しに住んでみると、トライしやすいのではないか」とのこと。

陶尾さんのまわりには、他にも移住者が何人かいるが、その人たちの中では「奥さんがその土地を気に入るかどうかが移住成功の鍵」と言われている。つまり、他所へ毎日働きに出る夫に対し、家にいる時間が長いのは妻。妻がその土地を気に入ることが大事という意味だそう。

移住をお考えの皆さん、奥様のご意見には良く耳を傾けることをおすすめする。



キャプション

<220202_341>

三田市酒井の古刹、曹洞宗友松寺

<220202_482>

三田市酒井地区は三田市のなかでも田園地帯。日本の原風景が残る

<220202_414>

わたしホームを立ち上げた、住職の妻、陶尾裕子さん

<220202_441>

友松寺の本堂でお話を聞いた

<220202_451>

友松寺の本堂前で

<220202_335>

大船山が近くに見えるロケーション